

# 白山地区 地区別計画

(平成 23 年度～平成 27 年度)

白山地区別計画策定委員会



## 地域 白山 1～4丁目

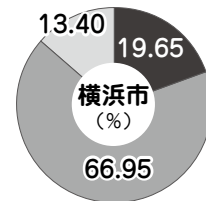
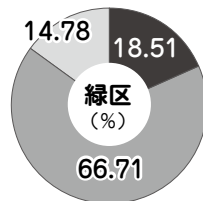
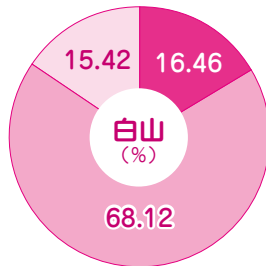
緑区の東方に位置しており、南側は旭区、北側は都筑区に隣接している。北側には鶴見川が流れている。横浜線沿いの地区西側には白山ハイテクパーク(産業団地)、市営バス車庫、東側には高層マンションが建っている。道路沿いに企業、商業施設等が並ぶ。

また、南側に向かって丘陵状になっており、計画的に整備された戸建中心の閑静な住宅地が広がっている。

### <年齢区分別人口>

■ 高齢化率(65歳以上) ■ 生産年齢人口比率(15歳～64歳) ■ 年少人口比率(0～14歳)

人口比率



人口

75歳～	569人
65～74歳	1,150人
15～64歳	7,113人
6～14歳	1,044人
0～5歳	567人
合計	10,443人

75歳～	13,477人
65～74歳	19,300人
15～64歳	118,114人
6～14歳	15,913人
0～5歳	10,269人
合計	177,073人

75歳～	318,878人
65～74歳	408,869人
15～64歳	2,478,327人
6～14歳	302,625人
0～5歳	193,838人
合計	3,702,537人

- 高齢化率 16.46%は、緑区の 18.51%より 2.05%、横浜市の 19.65%より 3.19%、それぞれ低くなっている。
- 年少人口(0歳～14歳)の割合 15.42%は、緑区の 14.78%より 0.64%、横浜市の 13.40%より 2.02%、それぞれ高くなっている。

平成 22 年(2010年)9月末



### <白山地区 地区別計画策定委員>

- 連合自治会
- 民生委員児童委員
- 子育てサークル
- 老人会(白寿会・シニア会)
- ボランティア  
(わかば会・いちえ会・グリーンクラブ)
- グループホーム森の泉(順不同)
- 地区社会福祉協議会
- 保健活動推進委員
- 子ども会

## 地区別計画策定委員会の開催状況

### 第1回

平成22年  
2月13日(土)

18:00～20:00

白山住宅集会所

策定委員 16名出席

『白山地区で行なっている取組の現状と課題』について話し合いました。



### 第2回

平成22年  
6月19日(土)

18:00～20:00

白山住宅集会所

策定委員 14名出席

『現状とこれからやりたいこと・できたらよいこと』を話し合いました。



### 第3回

平成22年  
9月25日(土)

18:00～19:30

白山住宅集会所

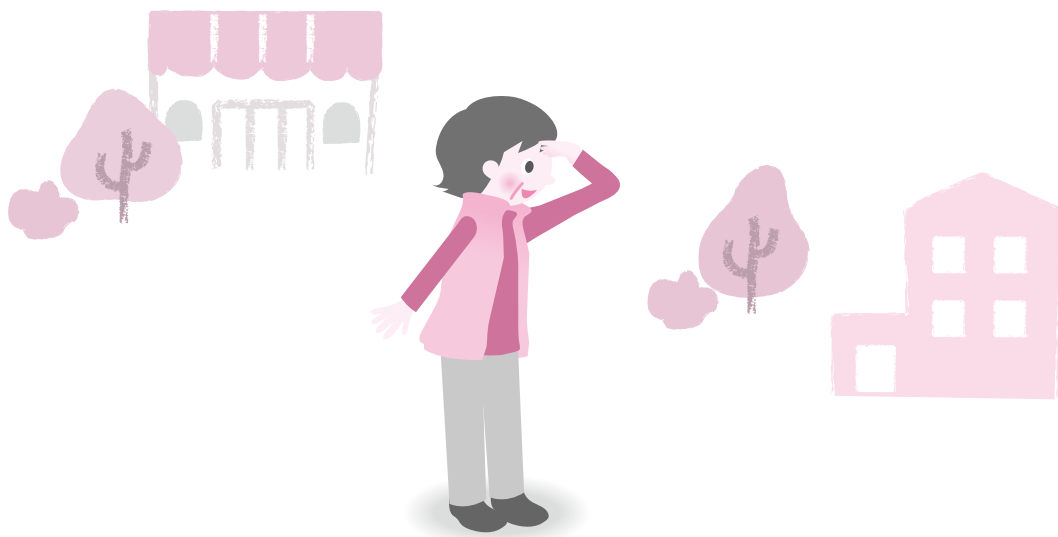
策定委員 14名出席

『白山の地区別計画』の素案に掲載する具体的取組について話し合いました。

通信 No. 1 発行

通信 No. 2 発行

通信 No. 3 発行



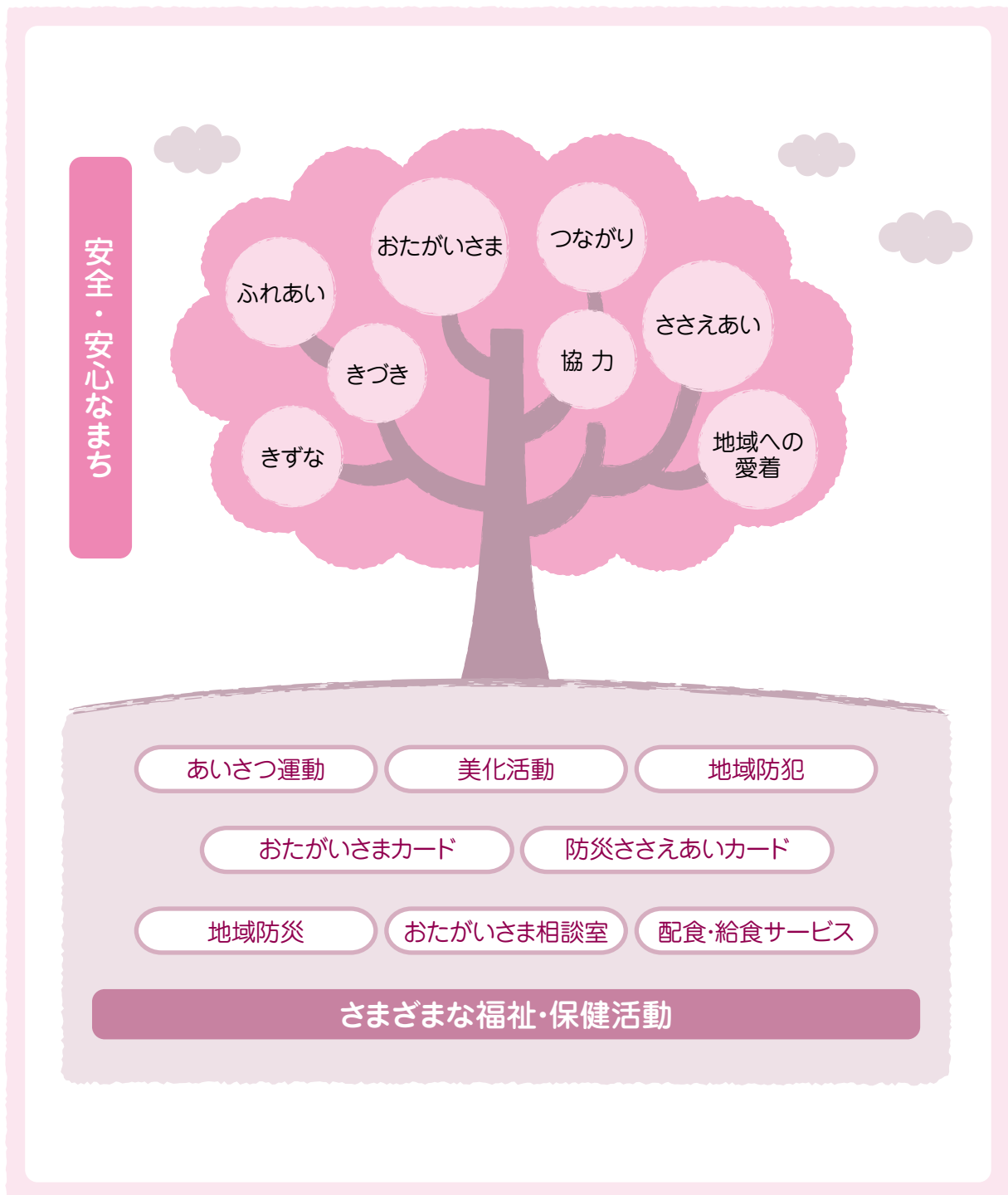
## 白山の目指す地域の姿

～発展性・持続性のある「ささえあい」による「安全・安心なまちづくり」～

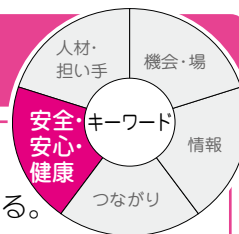
すべての人が生涯にわたって、豊かで安全・安心で快適に暮らせる白山。共にふれあい、学びあい、ささえあいのある白山を実現したいと考えています。

そのためには、皆さん一人ひとりが、困ったときには相談でき、協力できることは進んで行なう「おたがいさま」の関係。「つながり」や「絆」の強い白山にしていくことが必要です。

よりすばらしい白山の実現のために、皆さんのご理解とご賛同をいただき、自助・公助・共助の考えをもとに「ささえあい」による「安全・安心なまち」を育みましょう。



## 「おたがいさまカード」「ささえあいカード」の充実・活用



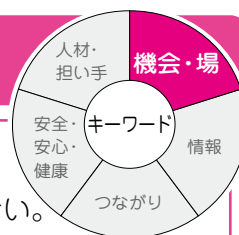
### 【委員会で出された意見】

- 「おたがいさまカード」「ささえあいカード」の認知度が低い自治会がある。
- 「おたがいさまカード」の取組状況が、自治会で大きく異なる。

### 【具体的な取組(やりたいこと・できたらよいこと)】

- 「おたがいさまカード」「ささえあいカード」の活用が進んでいる自治会の状況を共有し、参考にしあうしくみをつくる。
- 「ささえあいカード」登録者も避難訓練に参加できるような仕組みにしたい。
- 「おたがいさまカード」の完成度を高める。

## 利用しやすい・参加しやすい仕組み



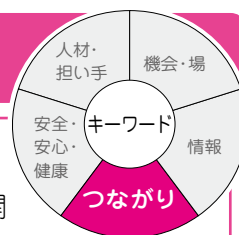
### 【委員会で出された意見】

- 活動の中心になってくれる方や、ボランティアをしてくださる方が少ない。
- どのように参加したらよいか分からない方や遠慮深い方が多い。

### 【具体的な取組(やりたいこと・できたらよいこと)】

- ボランティアの楽しみや、子どもが見習いたくなるような活動の広報を活発にし、協力してくださる方を増やす。
- 目に見える活動・幅広い広報手段・関連情報を流すなど認知度を高める。
- ボランティアをとりまとめる「場」と「人材」が必要。
- 「おたがいさま相談室」(ボランティア相談室)を開設し、拡充していく。

## 地域でのふれあい・交流



### 【委員会で出された意見】

- 問題を考える機会が、ご近所の方と地域のことを話し合うきっかけや関係づくりにもなる。
- 引越の多いマンションでは近隣にどなたが住んでいるのかさえ知らない場合もあり、問題が起こったときに誰に相談すべきかわからないという声を聞く
- ユニフォームを着てあいさつすると子どもたちは答えてくれるが、普段着のときはげんな顔をされてしまう。

### 【具体的な取組(やりたいこと・できたらよいこと)】

- 「おたがいさまカード」登録者が顔を覚えあってふれあえる「場」をつくる。
- 防犯パトロールや声掛け・あいさつ運動への参加を、子どもの親御さんや高齢者食事会「いちえ会」参加者にも呼びかけ、つながりを広げる。



# みどりのわさえ愛プラン

緑区 地域福祉促進計画・地域福祉活動計画

計画期間 第1期 平成18～22年度  
第2期 平成23～27年度

白山地区別計画策定委員会  
平成22年4月発行

## 白山 地区別計画 策定委員会 通信 No.1

ささえ愛プランは、私たち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、区民・団体・事業者・社協・区役所が協働でともにささえあうまちづくりを進めていくための計画です。

そのなかでも地区別計画は、日々の暮らしの中で起きる“福祉・保健”課題の解決にむけてより身近な地域全体で検討し、順序だてて取り組むための計画です。

そのため地区別計画策定委員会が11地区ごとに結成、白山地区でも第1回委員会が開催されました。



### 第1回 白山 地区別計画策定委員会

日時:平成22年2月13日(土)18～20時 於白山住宅集会所

委員構成:連合自治会・地区社会福祉協議会・民生委員児童委員・保健活動推進員・子育てサークル・子ども会・老人会(白寿会・シニア会)・ボランティア(わかば会・いちえ会・グリーンクラブ)・グループホーム 森の泉(順不同)

第1期ささえ愛プラン(～4カ年目21年度まで)

## ①これまでの白山での重点的な取り組み

### 共通目標:「ささえあい」による「安心なまちづくり」

「ささえあい」によって「年をとっても、障がいがあっても、ひとりになっても、私たち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送る」ことができる「安心なまち」にしたい

### プラン基本目標「安心・安全・健康のまちづくり」をふまえての実践

#### ■「地域ボランティア相談窓口(地区ボランティアセンター)\*」の開設準備(18年度～)

先進地区の調査研究、アンケート、意見交換などを通じて、白山地区ならではのたすけあいの仕組みづくりを進めています。

#### ■「おたがいさまカード」(地区別計画策定ステップ事業)(20年度～)

「おたがいさまカード」を作成し、白山地区の中で手助けを“求める方”と“できる方”のアンケート調査し、ニーズ把握や人材の登録などを進めています。

その他

■ 防災ささえあいカードの拡充 ■ 白山福祉まつりの新規立ち上げ ■ あいさつ運動の展開

■ 防災訓練の拡充 ■ 拡大委員会の定例開催 ■ 地区社協広報紙カラー版発行 など

\*地区ボランティアセンター:その地区の生活の困り事を地域ぐるみでサポートする、またボランティア活動に参画したい方の相談調整の窓口です。ささえ愛プランのリーディング事業で、地区社協単位でのボランティア相談窓口の開設運営がうたわれています。

これらのプランの取り組みの経過と現状の共有と課題や拡充していきたいことを話し合いました

## ②第1回地区別計画策定委員会での意見

### 課題をふまえた今後の取組みのアイデア

- すでに活動に関わっている人、そうでない人、ともにキャリア（知識や経験）を活かせる機会や場づくりをすすめたい
- いろいろなテーマ別チームを作り、メンバーを増やし、組織力を強く充実させたい
- 高齢・子ども・障がいなどすべてを網羅したネットワーク化をはかり、誰に相談してもよい体制を作りたい
- 住民の困りごとの実態を掴んで対応していく
- ほかの地区からも参加者やボランティアが来る活動も地区社協登録できるように検討したい
- ボランティアにIDカード（身分証）を用意し、安心して活動できるようにしたい
- 小学生に子ども会があるように、中学生が荒れないようサポートを考えたい
- 災害時には避難所で協力し合えるためにも、障がい者も一緒になった日頃の近所づきあいしていきたい

### 計画が行動に結びついた例

- 防災訓練の一環として一人住まいの方の安否確認で訪問した結果、①訪問先の方はいざという時このような形で手を差し伸べるといことがわかりとても安心され、②口コミで取り組みが伝わりつつある
- 障がいのある子どもさんを持ったお母さんから、自分が病気になった時や緊急の用事ができた場合での、登下校のお手伝いの依頼があり、実際2名の方が関わった

### おたがいさまカードについて

- 「手助けいただける方」に名前を記入した方へ、時間を空けずに熱意に応える方法を考えていきたい
- 当初はやってもらうことに慣れてしまうという不安があったが、利用した方はこんな組織があるとありがたい、ボランティアの方は役に立つことが嬉しいという声があがった
- 「おたがいさまカード」や「防災ささえあいカード」の訪問が口コミで広がると“助けてほしい”と言うのをためらう人も声が挙げやすくなる
- 「ささえあいカード」とともに進めてほしい

## ③白山地区別計画にむけて

第1期プランの内容を第2期プランで充実／完成度を高める

共通目標：発展性・持続性のある「ささえあい」による「安全・安心なまちづくり」

【留意点】

- 策定委員を中心に、第1期の取組みの主旨や内容を理解し、第2期につなげる
- 取組みが地域に浸透するように行動を起こす

- \* 次回第2回委員会では具体的なアイデアを持ち寄り、検討します。
- \* 委員以外の方のオブザーバー参加もお待ちしております。

<連絡先> 白山地区別計画策定委員会 事務局 電話930-2260(緑区役所 税務課長)



## 白山地区でこれからやりたいこと できたらよいこと

### 1 「おたがいさまカード」「ささえあいカード」の充実活用

- 「おたがいさまカード」の活性化を図りたい
- 「おたがいさまカード」で声をあげてくださった方へもっと何らかの対応をしたい
- 「ささえあいカード」をもっと活用したい
- 声をあげない方へのアプローチもしたい
- ボランティア相談室を設置したい
  - ・ ボランティアについての先進地域を視察し、ルールや運営のやり方を調査したい
  - ・ ボランティアをとりまとめ、コーディネートしたい
  - ・ ボランティア同士の連絡網やボランティアのコミュニティを作りたい
  - ・ 個人情報の勉強会など研修会が開催できるとよい
  - ・ カウンセリングや先生や子供が相談できる場もできるとよい

### 2 利用しやすい・参加しやすい仕組み

- ボランティア活動の楽しさをPRしたい
- グループ同士の交流を活発に行いたい
- 参加できる場を充実させたい
  - ・ 新しい住民との交流を工夫したい
  - ・ ホームページでのPRや登録できるシステムを作りたい
  - ・ 若い人の参加者を増やしたい

### 3 地域でのふれあい・交流

- あいさつ・声かけからはじめよう
- 地域でのふれあいのきっかけとして、いちえ会（お食事会）や防犯パトロールに誘いたい
- 白山住宅自治会で組織している福祉連絡会の活動を他の自治会にも紹介したい
- 子育てが一段落した方、リタイヤした方にボランティアを募りたい
- 勉強を教えてもらったり、話しを聞いてもらえる様な子供の「居場所」があるとよい
- 子供達がみんな何らかの形で地域活動に参加できたらよい
- 各団体同士の交流を広げたい
  - ・ マンション自治会同士の交流を行いたい
  - ・ 各団体との話し合いの場を持ち、協力しあいたい
  - ・ 高齢者と子供・若い世代とのふれあいを拡大させたい

## 白山地区別計画策定に向けて

次回第3回策定委員会では具体的なアイデアをもとに、いつ、誰が、どの様な行動を起こすのかなどを検討し、白山地区別計画の素案を策定します。

※ 委員以外の方のオブザーバー参加もお待ちしています

<連絡先> 白山地区別計画策定委員会 事務局 電話930-2260（緑区役所 税務課長）

誰もが安心して暮ら  
し続けられる緑区をめざして  
誰もが安心して暮ら  
し続けられる緑区をめざして  
誰もが安心して暮ら  
し続けられる緑区をめざして

緑区 地域福祉保健計画  
地域福祉活動計画

白山地区・地区別計画策定委員会  
平成22年11月発行

# みどりのわ・ささえ愛プラン

## 白山地区・地区別計画策定委員会通信No.3

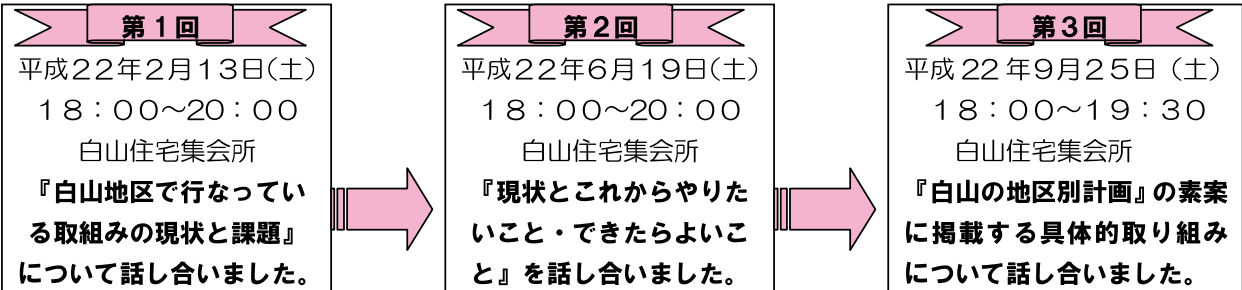


★ **みどりのわ・ささえ愛プラン白山地区・地区別計画** は . . .

誰もが住み慣れたまちで安心して暮らしていただけるよう、日常生活の中で起きている福祉・保健に関する様々な課題について、白山地区の皆さんと行政・関係者とで共に考え、地区全体で取り組んでいくための計画です。

白山地区の福祉・保健関連団体の代表16名を委員とする地区別計画策定委員会で、地域の課題を検討し、白山地区・地区別計画の素案を策定してまいりました。

### 地区別計画策定委員会の開催状況



#### 【白山地区 地区別計画策定委員】

連合自治会・地区社会福祉協議会・民生委員児童委員・保健活動推進委員・子育てサークル・子ども会・老人会(白寿会・シニア会)・ボランティア(わかば会・いちえ会・グリーンクラブ)・グループホーム森の泉 (順不同)

安全・安心なまち



さまざまな福祉・保健活動

#### 白山の目指す地域の姿

～発展性・持続性のある「ささえあい」による「安全・安心なまちづくり」

すべての人が生涯にわたって、豊かで安全・安心で快適に暮らせる白山。共にふれあい、学びあい、ささえあいのある白山を実現したいと考えています。

そのためには、皆さん一人ひとりが、困ったときには相談でき、協力できることは進んで行なう「おたがいさま」の関係。「つながり」や「絆」の強い白山にしていく必要があります。

よりすばらしい白山の実現のために、皆さんのご理解とご賛同をいただき、自助・公助・共助の考えをもとに「ささえあい」による「安全・安心なまち」を育みましょう。

# 1 「おたがいさまカード」「ささえあいカード」の充実・活用

「ささえあい」による「安全・安心のまちづくり」

## 【委員会で出された意見】

- 「おたがいさまカード」「ささえあいカード」の認知度が低い自治会がある。
- 「おたがいさまカード」の取組状況が、自治会で大きく異なる。

## 【具体的な取り組み(やりたいこと・できたらよいこと)】

- 「おたがいさまカード」「ささえあいカード」の活用が進んでいる自治会の状況を共有し、参考にしあうしくみをつくる。
- 「ささえあいカード」登録者も避難訓練に参加できるような仕組みにしたい。
- 「おたがいさまカード」の完成度を高める。

# 2 利用しやすい・参加しやすい仕組み

みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり

## 【委員会で出された意見】

- 活動の中心になってくれる方や、ボランティアをしてくださる方が少ない。
- どのように参加したらよいか分からない方や遠慮深い方が多い。

## 【具体的な取り組み(やりたいこと・できたらよいこと)】

- ボランティアの楽しみや、子どもが見習いたくなるような活動の広報を活発にし、協力してくださる方を増やす。
- 目に見える活動・幅広い広報手段・関連情報を流すなど認知度を高める。
- ボランティアをとりまとめる「場」と「人材」が必要。
- 「おたがいさま相談室」(ボランティア相談室)を開設し、拡充していく。

# 3 地域でのふれあい・交流

地域での「つながり」を大切に  
するまちづくり

## 【委員会で出された意見】

- 問題を考える機会が、ご近所の方と地域のことを話し合うきっかけや関係づくりにもなる。
- 引越の多いマンションでは近隣にどなたが住んでいるのかさえ知らない場合もあり、問題が起こったときにだれに相談すべきかわからないという声を聞く
- ユニフォームを着てあいさつすると子どもたちは答えてくれるが、普段着のときはげんな顔をされてしまう。

## 【具体的な取り組み(やりたいこと・できたらよいこと)】

- 「おたがいさまカード」登録者が顔を覚えあってふれあえる「場」をつくる。
- 防犯パトロールや声掛け・あいさつ運動への参加を、子どもの親御さんや高齢者食事会「いちえ会」参加者にも呼びかけ、つながりを広げる。

これまでの地区別計画策定委員会での検討結果をもとに、「白山地区の地区別計画」を素案にまとめ、平成23年3月には区計画の策定期と合わせて地区別計画を完成させていきます。



<連絡先>

白山地区別計画策定委員会  
事務局 電話：930-2260  
(緑区役所税務課長)